うみ議会だより

涼をもとめて 昭和の森

No.42 2011.8.8発行　福岡県宇美町議会　6月定例会

宇美町第5次総合計画基本構想決まる！ ③

第４次総合計画の検証 ④

一般質問 町政を問う ⑥

6月定例議会

平成23年度 補正予算

344万9千円を追加し
予算総額99億719万円に
（全員賛成）

6月定例会が6月13日から16日の会期で開催されました。
議長報告、町長・教育委員会の行政報告がありました。
議案は、専決処分の承認案2件、人事案1件、宇美町第5次総合計画の基本構想を定める案1件、条例案3件、予算案1件で計8件すべて可決しました。
一般質問は7議員8項目の質問がありました。
議員提出議案1件を可決しました。

被災地へ職員を派遣（交通費等）
74万8千円

震災に係わる被災地の行政機能回復支援として、現在、福岡県職員と市町村職員の15名を支援チームとする宮城県東松島市への合同派遣が実施されている。
宇美町からは、5月9日～17日及び6月2日～10日の日程で総務課職員を2名派遣。今後も福岡県と連携し派遣を行う。

「大腸がん」検診が無料に
140万9千円

子宮頸がん、乳がん検診に平成23年度から「大腸がん」検診が加わり、女性特有のがん検診推進事業から「がん検診推進事業」に改正。対象年齢は40・45・50・55・60歳、男女合計2566人。

宇美東小学校放送室にデジタル変調器を設置
129万2千円

既存のアナログ式変調器が故障したため、デジタル式変調器設置工事を行う。

条例案件

地方自治法の一部改正の施行に伴う平成22年度宇美町老人保健特別会計補正予算を専決処分

●老人保健特別会計が平成22年度をもって廃止に伴い，平成23年3月31日に歳入・歳出の各予算についての精算。
（全員賛成で承認）

地方税法の一部改正の施行に伴う宇美町国民健康保険税条例を専決処分

●平成23年度分の国民健康保険税から課税上限額を73万円から77万円に。
（賛成11：反対2で承認）

宇美町第５次総合計画基本構想決まる！

宇美町第5次総合計画の基本構想を定める

●「再生のまちづくり　まなびの森に育む地域力で築く共働のまちづくり」を基本理念とし「コミュニティ・行政運営」「健康・福祉」「都市基盤・環境・産業振興」「子育て・教育・文化」の４つの政策領域を定める宇美町第5次基本構想を策定。

（賛成11：反対2で可決）

町税条例の一部改正

●東日本大震災の被災者等の負担の軽減を図るため、個人住民税等に係る特例措置等を講ずる

（全員賛成で可決）

宇美町課設置条例の一部改正

●行政事務執行上の有機的な組織運営及び実効性等を勘案し、事務分掌等を見直し整備する。

（賛成10：反対3で可決）

健康福祉センター条例の改正

●社会福祉協議会の介護保険事業からの撤退に伴い、老人デイサービスセンターを廃止し、ボランティア・町民活動支援センター等を整備する。

（全員賛成で可決）

宇美町議会委員会条例の一部改正

●宇美町課設置条例が平成23年7月1日から施行することに伴い、常任委員会の所管を整備する。

（全員賛成で可決）

選任同意された委員

宇美町固定資産評価審査委員会委員

木村　隆晴　氏（再任）

▲宇美町第５次総合計画基本理念

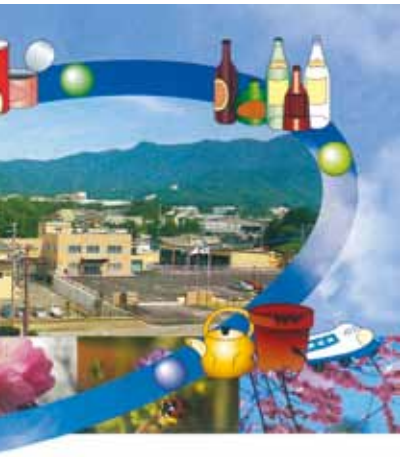
宇美町ボランティア・町民活動支援センター

▲愛称「ふみらぼ」については９ページに関連記事掲載

第4次総合計画「いきいきのびのび誇れるまちづくり」の検証

追跡

ルセンターの建設



センター「エコル」
稼働

主要プロジェクト3 小中学校の改善・改修

完成 老朽化した校舎等の耐震診断を行い大規模改造工事を年次的に実施し完了

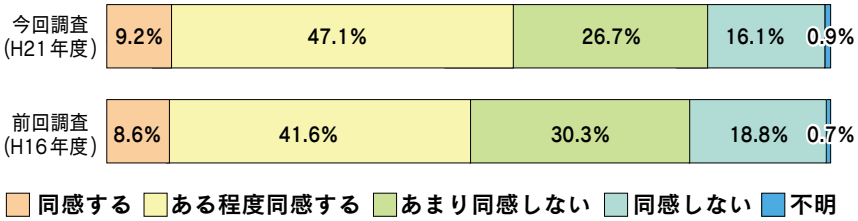
の推進

のコアゾーン整備
」「平和地区への案内板」
バリアフリー化」

主要プロジェクト6 男女共同参画社会づくり

男女共同参画うみプラン
～男女がともにいきいきと、同じ夢をもてる明るい町～

「男は仕事、女は家庭」という考え方への賛否



資料：福岡県「男女共同参画社会に向けての意識調査」（平成 21 年度）

継続 男女共同参画うみプランを策定
共働のまちづくり課で実施の方向

あれはどげん なっとりますと?

主要プロジェクト 1 都市計画道路志免宇美線の早期着工完成

継続 用地買収は、平成 23 年度中に完了
道路開通は、平成 25 年度完成予定

主要プロジェクト 2 リサイク

完成 宇美志免リサイクル
平成 21 年４月より

主要プロジェクト 4 町立図書館の建設

完成 平成19年９月開館　　平成22年度末現在利用者数
登録者　　15,955人（前年　12,354人）
年間入場者　186,752人（前年120,573人）

主要プロジェクト 5 生涯学習

完成 平成 23 年度、学び
「宇美町交流センター
「誘導版による歩道の

防災対策　東日本大震災に学ぶ

町長：人命尊重を第一に

垣内 京子 議員

垣内　甚大な被害が出た東日本大震災で、地震・津波などに対する防災への意識が高まっている。

この大震災からたくさんの事を学び、実践して行くことが、大切なのではないか。

「釜石の奇跡」に学ぶ小中学生「犠牲者ゼロ」防災教育は。

町長　本町の小中学校における防災教育は、各学校とも年間2回程実施している。

避難訓練は火災や地震など人命尊重を第一に各学年の発達段階に応じて実施している。

垣内　わが地域の防災訓練は。

町長　現在、町消防団で火災や水防訓練を行っている。

自主防災組織の立ち上げや防災士をもっと増やし、計画的に実施していく。

垣内　防災グッズ「救急救命情報キット」の活用を。

町長　中南部消防本部は在宅医療ネットワークの構築に向け作業が進んでいる。

救急救命情報キットと同じような内容があり、関係団体と連携しながら検討したい。

垣内　災害時の危機管理に役立つ「被災者支援システム」の導入は。

町長　当町もこのシステムの利用許可を得ている。操作性や費用など十分検証し導入に向け検討する。

第5次総合計画　信頼と支え合いの社会

町長：地域力で築く共働のまちづくり

古賀 ひろ子 議員

古賀　第5次総合計画では、「再生のまちづくり」「まなびの森に育む地域力で築く共働のまちづくり」を基本理念に掲げ、住民等と行政がパートナーシップを発揮し、共に取り組んでいくことが一層求められていることを踏まえ、地域コミュニティ振興の指針を策定しては。

町長　共働のまちづくりを進めるにあたり、指針策定は一つの方向性を示すもので必要である。

人と人とのつながりを見直し、地域社会に目を向け、行動に移すきっかけとなるような、個別計画策定に向け議論を開始する。

古賀　地域の支え合いの構築を最優先にし、体系的、計画的に。

町長　ボランティアセンターを拠点にボランティア団体・NPO団体などの要望をいかに予算に反映させるか。

また、平成24年度の予算編成に向け、自治会等に対する運営補助金等々、十分検証していく。

古賀　具体策として、ボランティアポイント制度の導入は。

町長　ボランティア未経験者がボランティアを始めるきっかけ、張り合いが持て、活動の質を高めるなど極めて有効である。

ボランティアポイント制度や長年活動をしている方への顕彰制度と合わせ検討する。

▲コミュニティ・スクール研修会

学校教育

「子ども救命士」の育成を

教育長：各学校で講習会を実施

西依 和彦 議員

西依　海外の事例を参考に、山形県村山市は「子ども救命士育成プロジェクト」事業を平成22年6月から始めた。

子どもたちに命の大切さ、救急救命の知識を身につけてもらい、将来に役立てて、市民の救命率向上につなげたい、というのが事業の目的。

子どもの頃から（命の大切さ・他の人を救う・助ける）ことを授業の一環として学び理解していくことは豊かな人間性を育むことになるのではないか。

南部消防本部と協議をして宇美町に「子ども救命士」を育成してはどうか。

教育長　各小学校とも救急救命教育を授業の中に取り入れている。

命の大切さ、思いやる心など情操教育に道徳、保健の授業で取り組んでいる。

宇美中学校は、1年生を対象に保健体育の分野でAEDの利用を含め救急救命講習を計画している。

講師には、粕屋南部消防署に指導依頼をしている。

宇美東中学校は3年生を対象に、宇美南中学校は2年生を対象に計画している。

西依　「いじめ」らしき問題の解決策は。

教育長　担任教師がいじめを早く発見し、校長、教頭の指導のもと各学校でいじめ問題対策委員会を立ち上げ、事実の確認、適切な指導、児童生徒の心のケアなど速やかに進めている。

▲心肺蘇生法の講習

学校教育

平和と教育

教育長：夏休み前の平和学習に工夫

鳴海 圭矢 議員

鳴海　福島原発事故により日本は原爆と原発事故の二度にわたり放射能による大規模な被害を受けることになった。

思えば被爆国の日本に原発があることにそもそも大きな矛盾があると思われる。

今一度、日本と核の関係を見直す意味を含め義務教育の中で原爆投下日に合わせて平和学習を行うべきだと思うが。

教育長　平成9年の夏休み中の出校日に小学生女児が殺害される事件があり、それ以後は安全確保を考慮して、夏休みの出校日を控えている。

現在は夏休み前に核兵器についての学習、6年生は長崎県への修学旅行をして平和学習の効果を高める工夫をしている。

鳴海　今年は中学の教科書採択の年である。

自由社、育鵬社の社会科教科書は「戦争美化」「日本国憲法の否定」といった内容を含み教科書としてふさわしくないと考えるが。

町長　採択協議会、選定委員会で調査協議される教科書は全て文部科学省の教科書検定を合格している。

このことは学習指導要領に示されている内容が適切な表記、表現で記載されているということである。

教科書会社により内容の記述に思いが見られるが、著しく事実に反していないと判断している。

戦後60数年の中で憲法も検討するべき部分もある。教育基本法も改定され、これに従い教科書も編纂されたと思う。

▲今年は中学教科書採択の年

原子力問題

原発は未完成で危険な技術

町長：国の施策に注目

山野 芳則 議員

山野　福島原発の事故は原発がいかに危険かを全世界に明らかにした。

過去、旧ソ連・チェルノブイリ、アメリカ・スリーマイルも同様で、その技術は本質的に未完成、きわめて危険である。

その本質を知らせるために、自治体として役割があると考えるが。国が期限をきった原発からの撤退を決断し、規制の機関を作る声をあげるとき。

町長　国策の中で原子力発電は進められた。ここでの言及は避けたい。

山野　福岡県は東西を原発で挟まれている。しかも玄海原発は老朽化とプルサーマル発電に問題があるが。

町長　確かに九電管内では最も古いが、廃炉にするべきか発言するべきではない。プルサーマルについても詳しい解答はできない。

当町も約67キロ離れているが危険性がゼロというわけではない。

放射能事故については県、市の動向を考慮して地域防災計画に盛り込んでいきたい。

山野　自然エネルギーに切り替えれば原発廃止も可能では。

町長　日本の電力の30％を原子力が担っている。経済性から見れば急速な脱原発は現実的ではない。

原発を利用しながら、省エネを進め、自然エネルギー技術の向上を待つのがベストではないか。

▲再稼動への動きが注目される玄海原発

その他の質問
●滞納処分に頼る町税等の収納対策は正しい方法か。

防災

災害対策の現状は

町長：県の防災計画と連携を図る

櫻木 悟 議員

櫻木　未曾有の大災害となった東日本大震災、今だ終息の目途がたたない原発事故など、いつ、どこで、どのような災害が起きても、おかしくない状況である。

我が宇美町では、どのような災害対策をたてているのか。河川の土砂の浚渫と仮護岸の復旧は。

町長　土砂の浚渫は、本年度実現に向けて協議を進め、仮護岸も今年度に本復旧に持っていきたい。

櫻木　雨水が一気に農業用水路や側溝に流れ込み冠水被害が起きているが、拡幅の計画は。

町長　予算の問題もあり全体的な拡幅計画はない。

櫻木　災害時重要な役割をはたす防災無線の改良計画は。

町長　一局３００万円程かかり増設は無理。フリーダイヤル「０１２０－８９８－２５５」音声で内容の確認ができる。

櫻木　避難場所として南部消防署の利用は可能か。

町長　一時的な利用は可能である。

櫻木　食料の備蓄は。

町長　町独自での備蓄はないが、物資供給の応援協定を事業者と提携している。

櫻木　自主防災組織の現状と今後の計画は。

町長　３行政区で組織されている。今後重要施策として検討したい。

櫻木　災害時活動拠点となる役場庁舎の安全性は。

町長　早期耐震化診断を行い増改築をどうするのか検討したい。

▲浚渫が望まれる宇美川

個人情報

電算システムの個人情報保護対策は万全か

町長：不測の事故に対応

藤野 莞嗣 議員

藤野 平成22年10月より宇美・志免・須恵3町で電算システム共同運用が開始された。財政効果と課題は。

町長 当町使用の電算会社が受注した関係でスムーズに移行した。

当初見積りより1億6千万円の節減効果。さらに今後の国の法改正で電算システム改修費用の削減が見込まれる。

課題は、3町業務担当者で各町の技術・情報・疑問点・不具合等を緊密に協議する必要がある。

藤野 アメリカでは「ソニー事件」で史上最大級の個人情報流出、被害者賠償問題が報道された。

電算システムの個人情報保護対策は万全か。

町長 法律や自治体が定める条例によって取り扱う事業者の義務・責務等について詳しく定めている。

藤野 事故があった時のバックアップ体制は。

町長 不測の事故でデータが破壊されたと想定し、機械で正副2つのバックアップを持っている。

また、住民基本台帳など重要な情報について磁気テープで機械室とは別の所で管理している。

対策は絶対安全であると言えないので、適宜3町で見直しや政府の情報対策などを踏まえ、事故が発生しないよう十分な対策を講じたい。

宇美町ボランティア・町民活動支援センター ふみらぽは、こんなところです！

宇美町ボランティア・町民活動支援センター『ふみらぽ』では、宇美町のみなさんがおこなうボランティア活動などの自主的で公益的な活動のお手伝いをします。

ボランティア活動の情報と交流の拠点として、たくさんの方に利用してほしいと願っています。

『ふみらぽ』という愛称は、魏志倭人伝に出てくる不彌国（宇美町）の『ふみ』とフランス語で人と人との信頼を意味するラポールの『らぽ』をあわせています。

利用できます

センターの施設や設備を利用する時には登録をお願いしています。

●**和室・会議スペース**
無料で使用できます。空いていればいつでも使えます。前月1日から予約をすることもできます。

●**作業スペース**
資料づくりや少人数の打ち合わせに利用してください。コピー機(有料)、印刷機(準備中)、大型ホチキス、パンチなど使用できます。

・コピー機　モノクロ　1枚10円
　　カラー　1枚70円
　　（ともにA3まで）
・印刷機　原稿1枚100円※用紙は持込で

●**ロッカー**
登録団体で希望があれば、ロッカーを利用できます。1年毎の更新。（無料）

登録をお願いします

〔個人登録〕
●ボランティア活動をしたい方の情報を登録していきます。

〔団体登録〕
●団体登録申請書
●活動の内容がわかるもの
（活動報告、会員名簿、会計報告、あれば総会資料）

★登録できるのは、宇美町内の団体でボランティアなどの公益的な活動をしている団体。営利を目的としない活動で、宗教的、政治的な活動ではないこと

Fumirapo

委員会報告

総務文教常任委員会

委員長　犬塚　齊
副委員長　垣内　京子
委員　松下　弘毅
委員　櫻木　悟
委員　山野　芳則
委員　飛賀　貴夫

教育委員会

平成23年度 宇美町教育施策要綱

〝宇美〟に誇りを持ち、健やかに生きる人づくりを目指して大きく二つの柱がデザインされた。

◎学校教育関連としては「志を持ち心豊かで、たくましい子どもを育む学校教育の充実」のために「学力の育成」「学校ブランドの確立」「教育環境の整備」の施策に取り組む。

◎社会教育関連では「まなび続ける輝く人づくりを目指す社会教育の推進」目的を明確にし、子ども、家庭、地域、行政がひとつになって「ふるさと宇美」の人づくりの実現に向けて推進していく。

Q. 目標が平成24年度になっているが、本当にできるのか。どの様に推進していくのか。

A.（学校教育課）
第5次総合計画をリンクさせ作成し前期の目標ということで2年間をかけて取り組み目標を達成できるよう努力する。

A.（社会教育課）
目標値が設定しにくい為、過去の参加者数等をベースに設定。この数字に向けて努力する。

学校教育課

確かな学力育成

町内統一学力テストを実施し、学習の確かめ、フォローアップなど、一人ひとりの実態を把握し適切な指導を行う。

社会教育課

宇美町スポーツ振興事業実施要綱

子どもから高齢者まで生涯スポーツ社会の実現に向けた施策を総合的に推進する。

第十五回「少年の翼」

平成23年8月3日から6日まで三泊四日の日程で韓国を訪問。プヨ（扶餘）の子どもたちと交流。

糟屋郡民体育大会

平成23年7月31日に久山町を主会場に開催される。

総務課

東日本大震災の被災地へ町職員を派遣

4月から6月にかけて県と市町村合同で第一陣から第九陣に分かれて宮城県東松島市へ派遣された。宇美町職員からも第三陣と第七陣に各1名を派遣した。

▲被災地の状況

総合政策経営課（旧政策経営課）

福岡県中国帰国者定着促進センター跡地の経過

福岡県後保護補導所（アフターケア）誘致にあたり、昭和29年、町の負担で造成し、県へ無償寄附し、運営していたが、昭和61年閉所。

昭和62年、福岡県は当時の厚生省の委託を受け中国帰国者定着促進センターとして運営してきたが、平成16年に閉鎖。現在、県と無償譲渡について協議を進めているが進展していない。

今は、宇美小学校区区長会より要望があり、グラウンドゴルフ場として開放している。

議会としては、防災防犯上、建物の早期取り壊しを要望した。

町の重要な問題を調査・研究

建設厚生常任委員会

委員長　藤木　匠
副委員長　西依　和彦
委員　岸本　光男
委員　藤野　莞嗣
委員　中市　和博
委員　古賀ひろ子
委員　鳴海　圭矢

子宮頸がん・乳がん無料検診今年度から大腸がんを追加

健康福祉課

検診名	子宮頸がん	乳がん
宇美町	24・8％	30・6％
福岡県	21・7％	21・6％
全国	21・7％	24・1％

Q. 平成21年度の無料クーポン使用状況は。

A. 子宮頸がん、乳がん検診ともに県、全国平均と比較し、宇美町がやや検診率が高い。

Q. 受診の啓発の取り組みは。

A. 特定検診のお知らせ、同時に他のがん検診の受診勧奨を行い、乳幼児検診時に若いお母さん方にも積極的に受診勧奨し、土日の検診と託児を行うなど。

Q. 大腸がん無料クーポンの対象者は。

A. 基準日は平成23年4月20日宇美町に住民票があり、男女ともに40歳から5歳刻み60歳まで全体で2556名。

平成22年度のごみ処理

環境課

Q. 平成22年度のごみ収集量は。

A. 約1万200トンで、昨年と比較して1.6％の減。可燃ごみは0.3％増、資源ごみ7％の減。

Q. 最終処分場の埋め立て計画は。

A. ごみの減量化が進み約10年間は埋め立てが可能になる。

Q. 最終処分場の2期建設計画は。

A. 平成23年、24年で測量、地質調査、基本設計、生活環境影響調査、実施設計。平成25年、26年で建設工事を計画。

Q. 宇美町衛生センターのダイオキシン類測定結果は。

A. 法定基準値を大幅に下回り問題はない。

井野本村地内水路浚渫工事

都市整備課（旧建設課）

ボックスカルバート内が土砂で満杯になっている。農業用の転倒井堰が常時立ち上げたままなので溜まった土砂を吸い上げ搬出する。

Q. 今回発見した経緯と対策は。

A. 隣接の家屋の建設があり調査の際に発見した。土砂が堆積しないように転倒井堰は今後倒したままの予定。

▲井野本村地内水路浚渫工事

四王寺坂団地雨水幹線溢水対策工事

既存のフェンスを撤去し、コンクリートの壁を立ち上げる工事。

▲四王寺坂団地雨水幹線溢水対策工事
（平成23年6月17日完成）

マンホールポンプの維持管理は

上下水道課

Q. 下水道に設置するマンホールポンプの年間維持管理は。

A. 町内18箇所の保守点検を月2回、清掃は年4回、吸泥は年1回さらに緊急時の対応、これを24時間体制で実施する。

うみ議会だより 第42号

みんなの広場

夢のふるさと目指して

5月下旬から田植えの頃までの短い期間、ホタルの乱舞が見られました。毎年5月25日を定点にホタルの飛翔調査を行います。今年は、桜の開花が遅く気温が低い状況が続きホタルは比較的少ないように感じました。

うみ広報で観察会の呼びかけを行い、昨年より1週間遅い6月4日（土）観察会を開き、暖かく少し湿度がある良い天気に恵まれての開催です。場所は昭和の森と宇美町一番のホタルスポット松ヶ本橋です。ホタルと清流の会会員によるホタルの生態やホタルスポットの紹介を行い、また、役場職員ボランティアの方の協力で、竹灯ろうや竹筒で飲む挽きたてのコーヒーが振る舞われました。約200名の方の参加もあり、東日本大震災義援金にも協力頂きました。

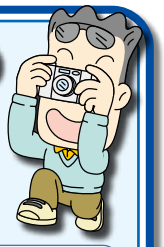
いよいよ、ホタルを目指して、観察会の始まりです。「あーいた、ここにも、あ・あそこにも、宇美町に住んで初めてホタルを目にしました。本当にうれしいです。」など歓声が大きく響き渡りました。

私たちの定例的な活動は、宇美小学校のビオトープを夢のふるさとにしようと「にじいろデンボ倶楽部」の方々と連携し、平成18年からホタルゾーンを設置し、ホタルの餌になるカワニナを放流してきました。今では、カワニナが自生し、ホタルにとって最適な環境ができています。毎年、ホタルの幼虫を2月に放流しています。

夢のふるさとを思い描きながら地道に活動を続けていきます。

宇美町ホタルと清流の会

議会だよりの掲載写真募集中！



●テーマ
まちで見かけたステキな風景、心温まる情景、紹介したい催しなど。

※必ず被写体本人の承諾を得てください。
※詳しいことは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）に定例議会が開かれます。
複雑な手続きは必要ありません。
役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。
次回の定例議会は、9月初旬に開会予定です。

※ 詳しくは8月下旬に宇美町議会事務局（TEL092-934-2248）までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。
gikai@town.umi.lg.jp

◇発行・福岡県宇美町議会
◇編集・議会広報特別委員会
◇発行日・平成23年8月15日
◇印刷・㈱四ケ所

〒811-2192 福岡県糟屋郡宇美町5丁目1番1号
TEL 092-934-2248 FAX 092-933-2281
E-Mail gikai@town.umi.lg.jp